

# 令和元年度 奈良県立病院機構 決算の概要

## 【医業収益・費用】

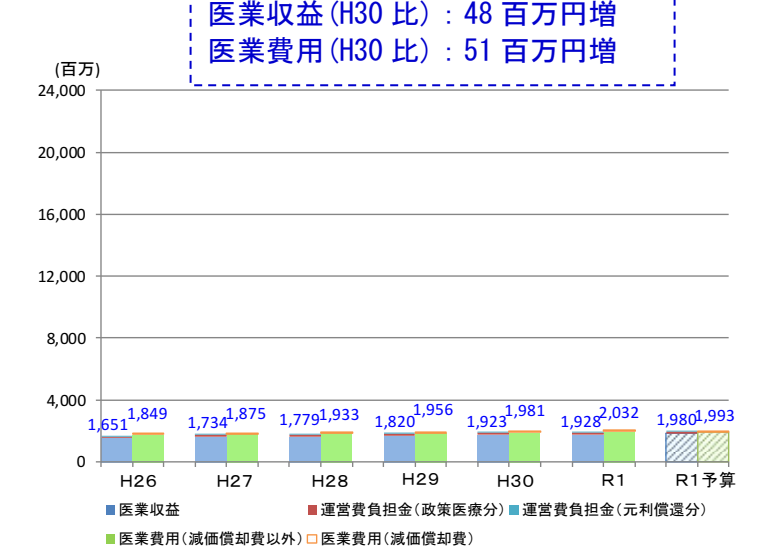
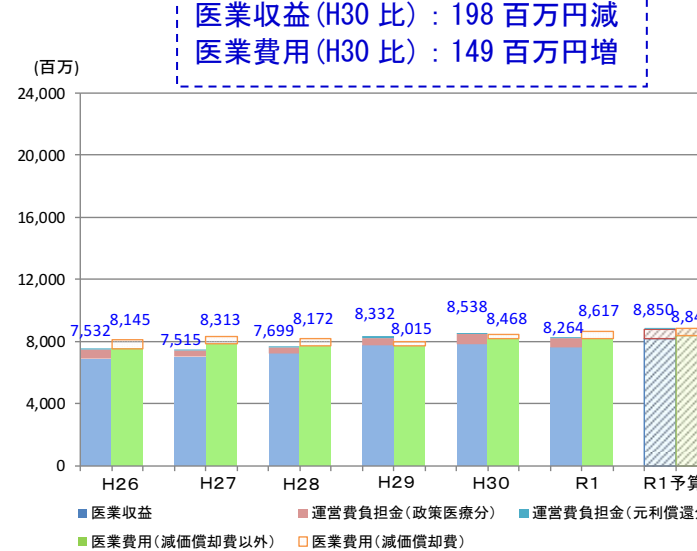
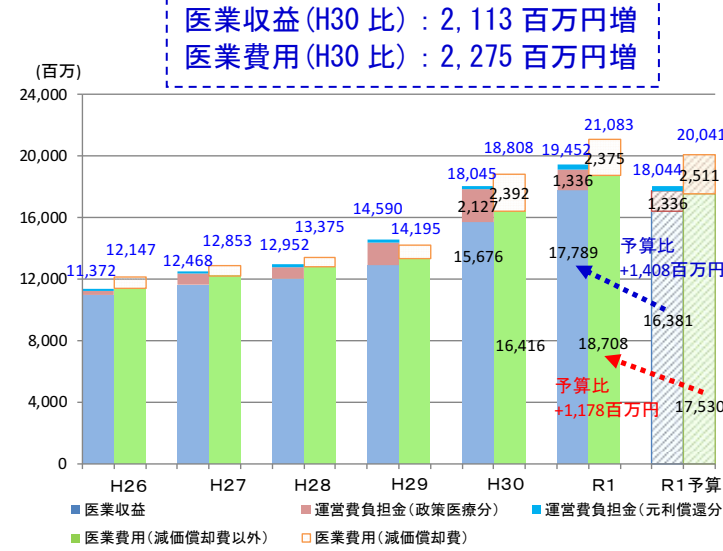
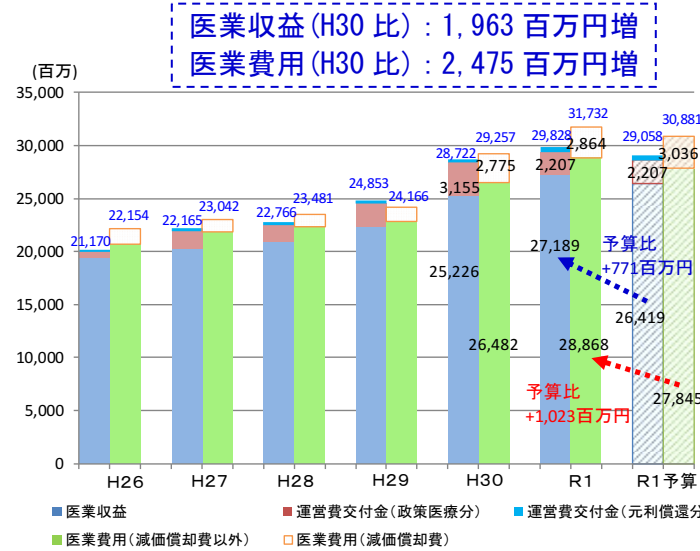
○医業収益は、患者数の増加と単価の上昇等により、**機構全体で平成30年度よりも1,963百万円増加し、予算に対して771百万円増加した。**  
 ○医業費用は、病床拡大等による給与・材料費の増加等により、**機構全体で平成30年度よりも2,475百万円増加し、予算に対して851百万円増加した。**

### 【機構全体】

### 【総合医療センター】

### 【西和医療センター】

### 【総合リハビリテーションセンター】



## 【経常損益】

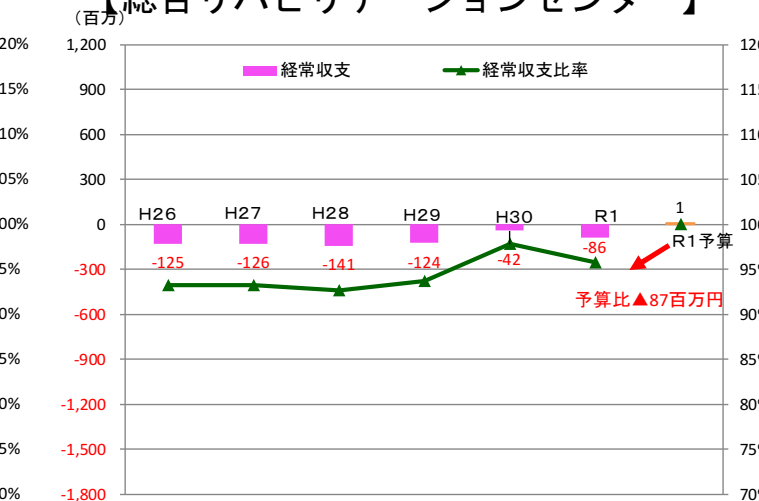
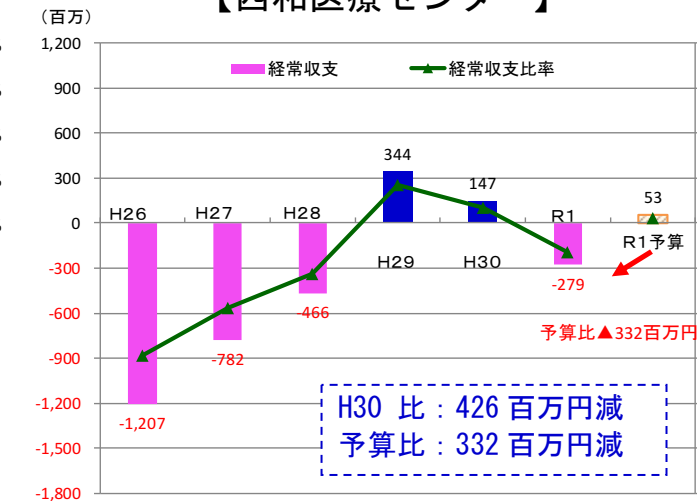
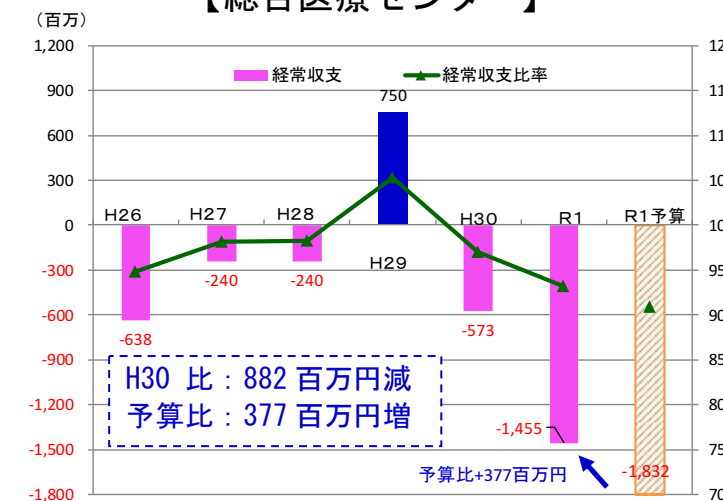
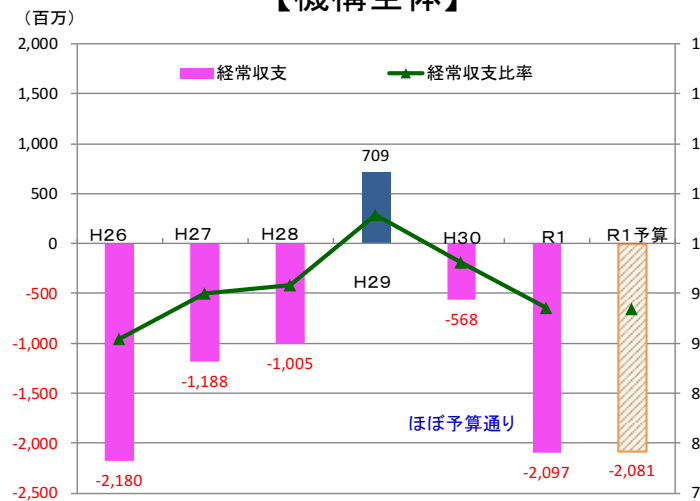
○経常損益は、**平成30年度よりも1,529百万円減少し▲2,097百万円となった。** 予算に対しては▲16百万円と**ほぼ予算どおり**となった。  
 ○総合医療センターでは、医業収益の増加により**予算に対して377百万円改善**した。

### 【機構全体】

### 【総合医療センター】

### 【西和医療センター】

### 【総合リハビリテーションセンター】

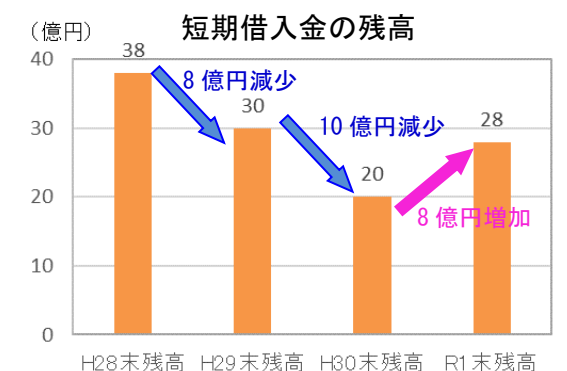


## 【収益・費用について】

- 医業収益は平成30年度より1,963百万円（予算比+771百万円）増加。医業費用は平成30年度より2,475百万円（予算比+851百万円）増加。
- 医業収益と運営費交付金（元利償還分を除く）の合計額（29,396百万円）は、減価償却を除く医業費用（28,868百万円）を528百万円上回る。**
- 総合医療センターの建物等の**減価償却費（2,864百万円）を加えた経常損益は▲2,097百万円となる。**

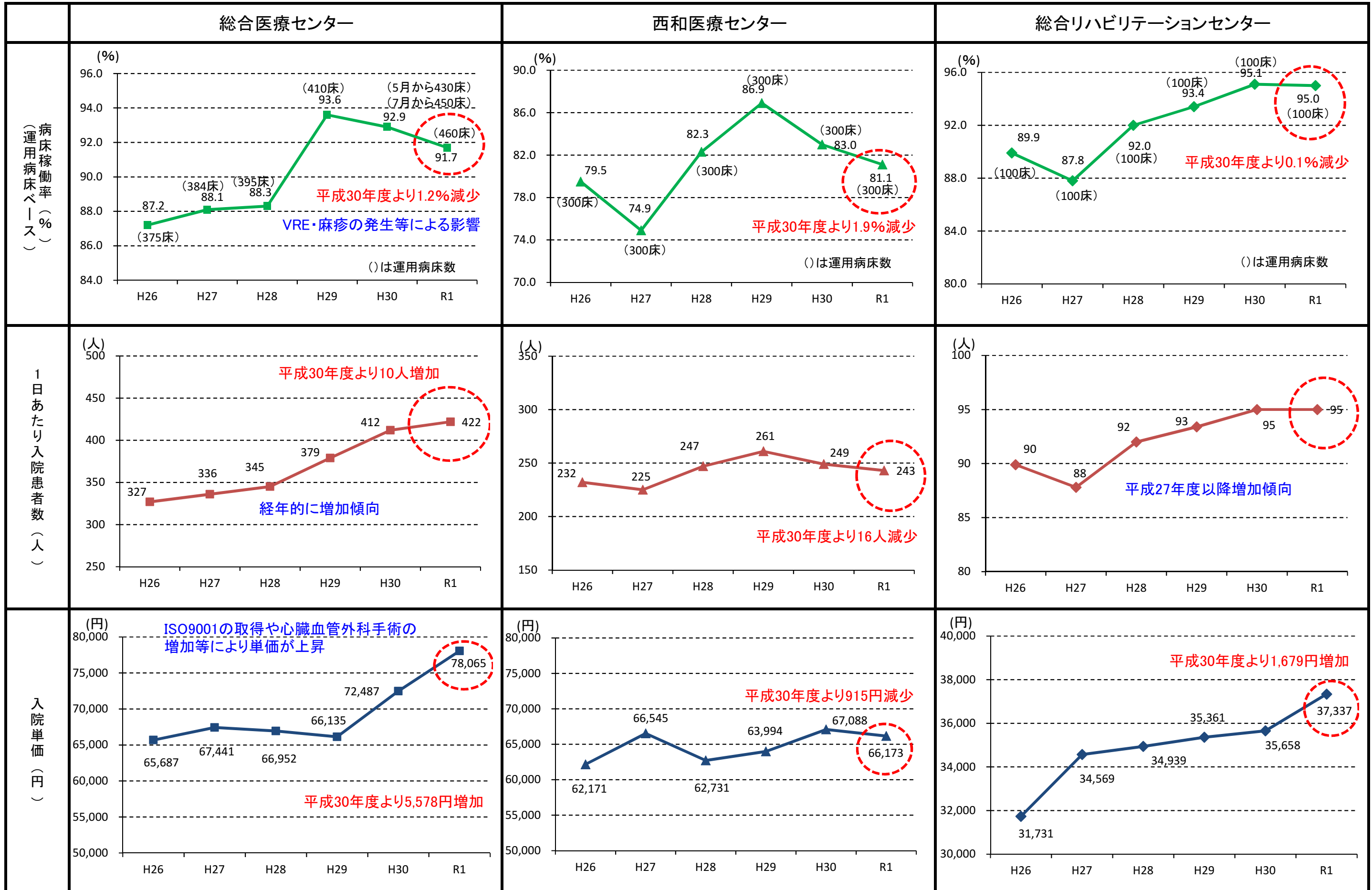
## 【キャッシュ・フロー】

○長期借入金の返済による支出が544百万円増加したこと等により、年度末における**短期借入金の残高は2,800百万円（800百万円増加）**となった。



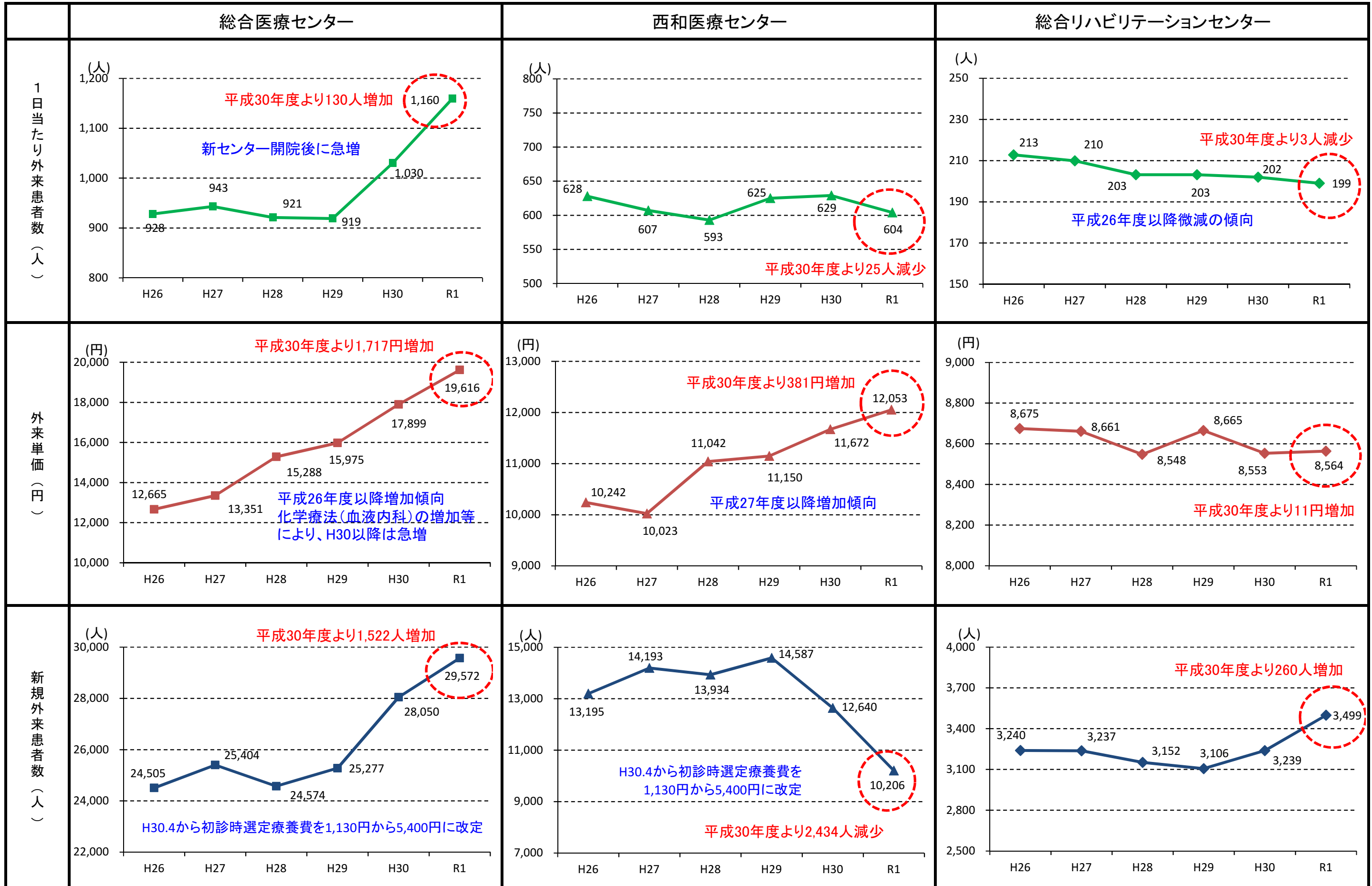
# 入院

## 各病院における診療指標の推移①(入院関係指標)



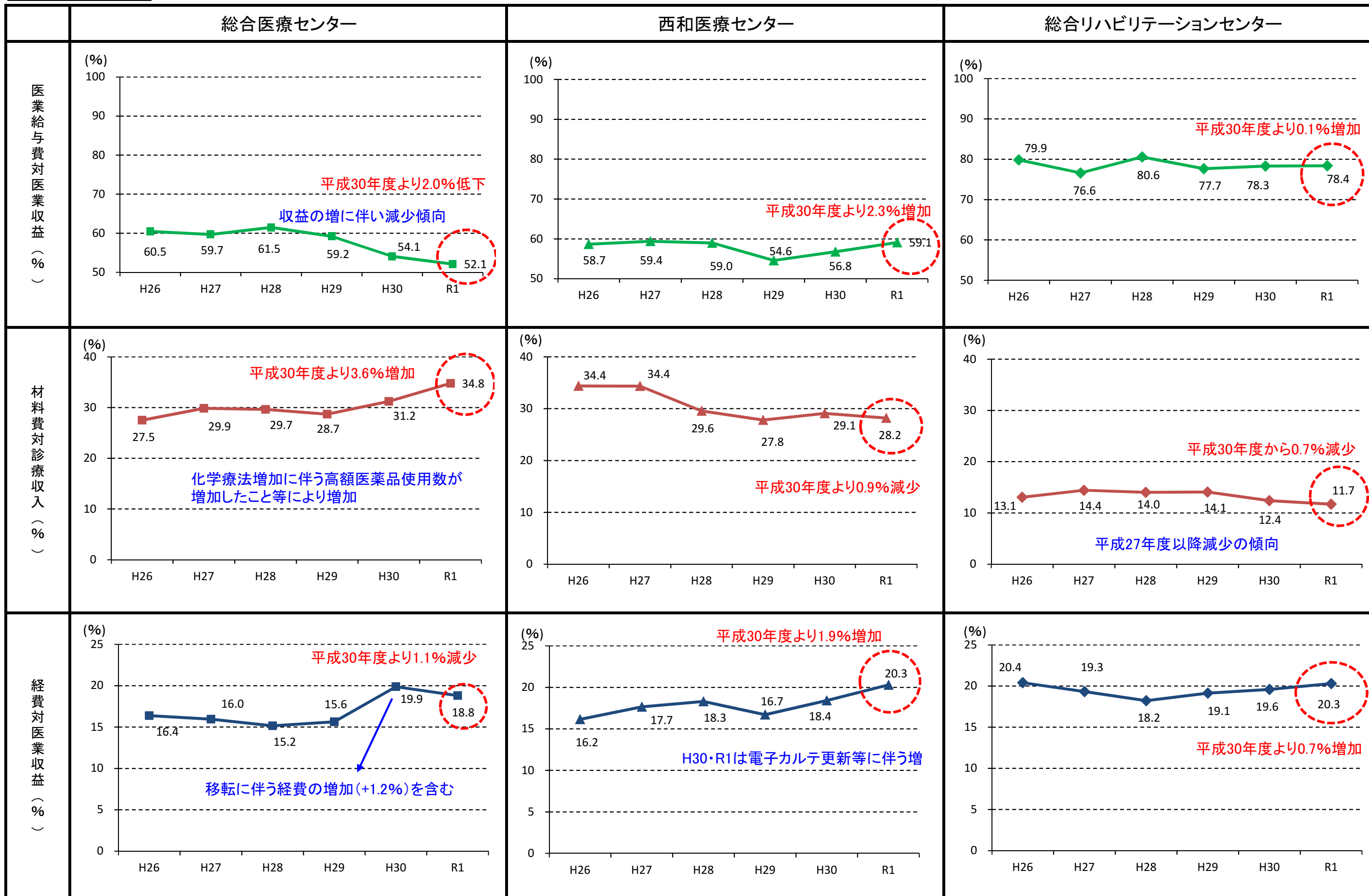
# 外来

## 各病院における診療指標の推移②(外来関係指標)



# 費用

## 各病院における診療指標の推移③(費用関係指標)



# その他

## 各病院における診療指標の推移④(その他指標)

